

北地域後援会は我孫子1~4・久寺家・台田・つくし野・並木・根戸・布施のエリア

水元公園



しらかば北

発行責任者
井上文夫

補聴器の補助を求め 活動にかかわって

前市議会議員 野村 貞夫

「今何て言った」で始まる会話、身近かな人達が日々耳に関する話題が多くなってきました、70歳を過ぎると急速に聞こえが悪くなってきました。

「今何て言った」で始まる会話が、身近かな人達が日々耳に関する話題が多くなってきました、70歳を過ぎると急速に聞こえが悪くなってきました。

我孫子市での65歳以上の人が40%になろうとしています。このような中で、私は2019年の12月議会で加齢性難聴者の実態と補聴器の必要より購入時

「今」では昨年12月議会に、国への補助を求める請願を提出したところ、全会一致で採択されました。

にあまりにも高額であることから市からの補助を求めました。また難聴になってくると閉じこもりがちになり、そのことから認知症に進んでいくことも指摘し、補助制度の創設を要求しました。

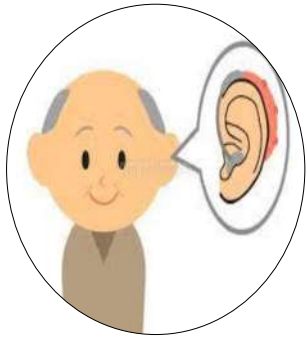
今、全国120をこえる自治体で補助が広がり、東京都の港区では非課税世帯に、13万7千円の補助がされています。

市は、今後研究し状況把握に努めていくとの答弁でした。その後、2020年に婦人団体で要求の広がりから「補聴器の補助を求める会」が創設されました。(以下「会」)

我孫子市においても一日も早く補助がされるよう、わたしも「会」の一員としてこれからも取り組んでまいります。

私はさらに多くの方々から要求が広がるなかで21年22年と3度の質問をしてきましたが、進展はありませんでした。

この後援会ニュースのカラー印刷を継続するために読者の皆さまのご支援をお願い申し上げます。



車椅子を安心して 利用するために



夫は83歳要介護2です。歩行困難なので外出は車椅子です。通院・買い物・散歩など気分転換を兼ねて出かけます。

普段歩いている時は気にならない段差に苦労しています。歩道には並木の根っこ、浮き上がったマンホール、車の出入りのための斜面など障害物がたくさんあります。

信号のある交差点は、歩道から車道に降りるときは気にならない段差も車道から歩道に入る時は、車輪が上がらず苦労しております。

道路を横切っている 下水道の蓋が劣化して崩れている所が何か所もあります。うっかりその一つに前輪がハマリ車椅子が急に



止まって夫が地面に転がり落ちたことがあります。幸いケガはなく無事でした。歩道は本当にデコボコだらけです。安心して車椅子が利用出来るようになることを願っております。

短い距離は杖を使い歩きます。階段は一步一步ゆっくりと歩きます。

我孫子駅方面に行く時は、6号の天子山地下道を利用します。上り下りの階段の通路は平ですが雨降りの後は面脇の細い溝に水が溜り滑りやすく危険です。この壁に手すりをつけてもらいたいです。つくし野(吉田)

花火

毎年5月、少子化が進んでいると話題になる。15歳未満の子どもは1401万人(今年4月)

「現在、前年33万人減」43年間連続減少という。出生率は1.39で192カ国中183位と最低に近い▼6月5日、国会で「子育て支援法」が改正され、新たに中学生にも毎月1万円卒業まで支給される事になった。この改正と引き換えに「子ども子育て支援金」が毎月一人450円徴収される。軍費に流用されるのではないかと質問があった▼少子化の原因は、結婚や出産に対する価値観の変化といわれるが、具体的には、◇若者の多くは厳しい経済状況に直面している。結婚や出産に必要な資金が難しい。◇子どもを育てる多額の金・時間がかかり負担が大きい。◇仕事と家庭の両立を支援する環境が不十分▼国を支える生産人口(15~64歳)は2040年には1420万人も減少するといわれている▼国の少子化対策は当面の対策であって、原因となる諸問題解決のためには20年30年先の施策がなければならぬ▼結婚している二人の子どもに孫は一人。独身で通す二人の姪たち。身近な問題としてこれからどうなるのかと考えさせられる。(江)

連絡先 井上

西部福祉センター

廃止の危機！

井上文夫

国道6号線沿いのスーパーベルク裏側にある高齢者福祉施設、西部福祉センターはカラオケや演芸などに使う大集会室、囲碁・将棋や麻雀などに使える小会議室、それに大小2つの浴室などを備えた福祉施設です。送り迎えのバスも出ていて高齢者に人気の施設です。

この西部福祉センターを市は廃止しようとしています。5月29日、市の2回目の説明会に出席しました。参加者は約50人いました。市側の説明と参加者の意見を紹介します。

市の健康福祉部長と高齢者支援課職員から、西部福祉センター廃止についての説明がありました。

学校や市役所など市の関連施設が老朽化しており、施設の見直しが必要となっている。高齢者福祉センターはーについては西部福祉センターを廃止し、つつじ荘（中峠地域）に一本化する。つつじ荘と西部福祉センター、2つの施設の老朽化に伴う今後の必要経費は合わせて2億4000万円（西部福祉センター分8463万円）。さらに西部福祉センターの年間維持費は4000万円である。また利用者数はコロナ以前の水準以下となっている。

こうした市側の説明に対し参加者から次のような意見が出ました。

①みんな喜んで利用しているのに費用対効果だけで廃止するのは絶対反対

②西部福祉センターには歩いて来る人が4割いる。これは健康につながっている。

③有識者メンバーが廃止の方



向で結論を出しているが、利用者のことを考えているのか。

④我孫子に来て50年になる。

市の行政サービスを受けたのは、この福祉センターだけだ。廃止には納得がいかない。

⑤廃止するための説明会か？

最初からスケジュールが決まっているのはおかしい。

⑥利用者は年金が低い人

もいるが、健康でいられ、結果として介護費や医療費の削減になっている。無料で利用できる西部福祉センターは残してほしい。

その他多くの意見が出されましたが、全て廃止反対の意見ばかりでした。

なお、西部福祉センター廃止問題については、6、7月に廃止問題に関するパブリックコメント、そして9月議会

で廃止・改正についての条例案上程などのスケジュールが考えられています。

西部福祉センター廃止問題

は我孫子北地域市民、特に高齢者にとっては重要な問題です。市は説明会参加者の意見がすべて廃止反対であったことをしっかりと受け止め、今後は市民の介護予防策の充実を図るために、西部福祉センターの有効活用を図ってもらいたいと思います。

(井上)

私の写真館



家の裏の林に自生していたエビネ。30年ほど前から栽培していた花の胞子が飛んで自然に発芽し成長したようで、とても珍しいことです。「エビネ」という名前の由来は、ラン科の特徴でもあるバルブ（次の葉や花を形成させるための養分を蓄える根塊）が海老の尻尾に似ているからだそうです。

並木 鈴木清美

この人に聞く
野村貞夫さん
(2)

野村貞夫さんに市議会議員時代の活動について伺った。

我孫子に引っ越して22年経つ。前は松戸に住んでいたが、定年前に手賀沼沿いの我孫子新田に引っ越した。

それから我孫子の共産党議員の後援会などの集まりに出席するようになった。

関口市議の選挙に取り組み南地域の後援会長が病気になるので頼まれて後援会長を引き受けた。それから2015年秋、71歳で市議選出馬を決意した。初議会での質問は平和問題を取り上げたことが印象に残っている。「平和都市宣言」をした都市だから、もっと平和に取り組んでもらいたい、と質問した。

また日本共産党市議団としての視察で印象に残っているのは佐賀県の自治体の太陽光発電に関する視察であった。同行議員は岩井さん。その視察が生きて、我孫子の太陽光発電事業に取り組んできた。現在天王台の佐々木さんがリーダーになって、市の課長も参加する懇談会が出来ている(月1回開催)。

市議会活動で苦労した点は、議会質問の際、市側の答弁をある程度想定して、再質問を考えておかなければならず、その「想定問答」の対応に苦労した。そうした議会活動で、喜びを感じたのは政策要求が実現したときである。3つの課題の実現が記憶に残っている。

①我孫子駅エレベーターの設置

②我孫子駅ホームドアの設置

③我孫子駅北口・南口、バス停・タクシー乗り場のバリアフリー（車椅子利用コース）などである。